

兵庫県立大学AP事業成果報告

—環境人間学部における取組—

本学でのAP事業（構想含む）

- H28～R1 環境人間学部が先導的に事業を推進
- R1～R2 他学部で全学展開に向けた準備
- R3～ 全学展開

環境人間学部

- 1学年：約200名
- 文理融合型
- 2年生から専門の系に配属
- ※食環境栄養課程（入学時から配属）

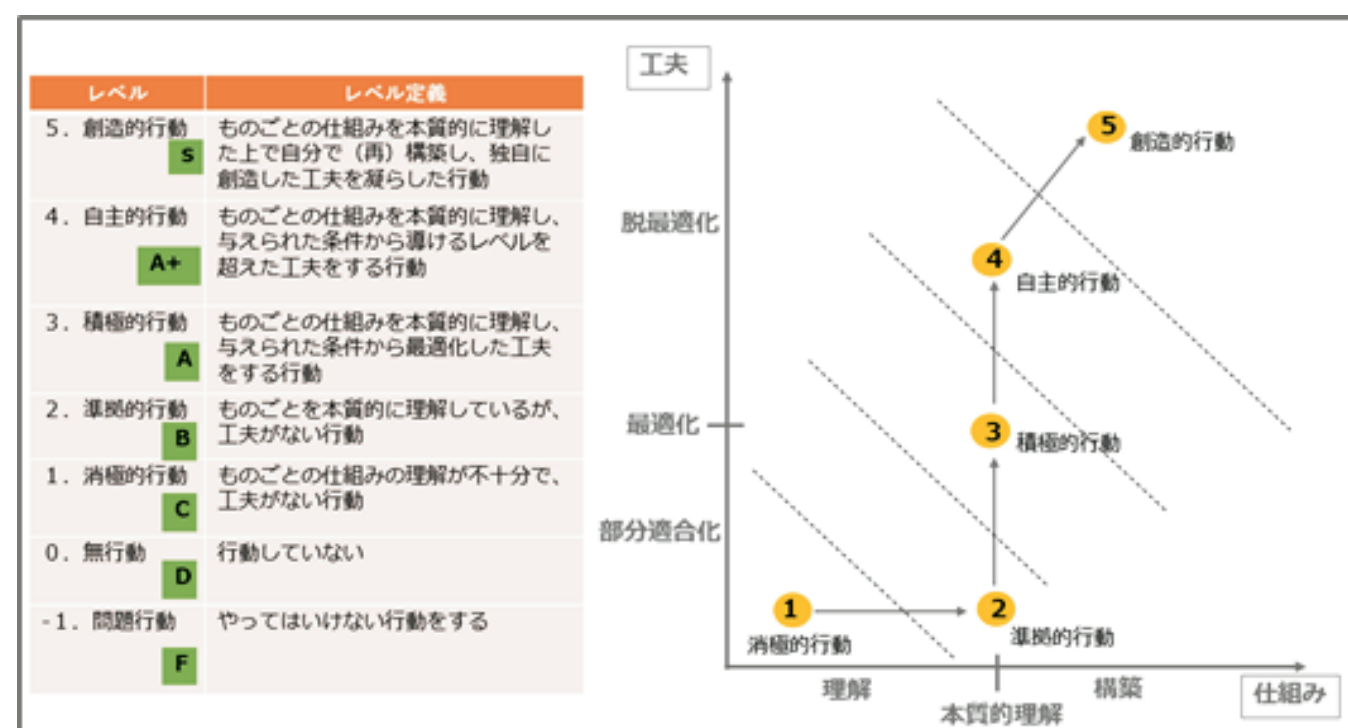


1. 学部DPルーブリック

学部のディプロマポリシー(DP)の達成度を評価するための共通指標としてルーブリックを作成した

● 学部DPルーブリックのレベル

- 「仕組み」と「工夫」の2軸からなる成長モデルを描き各レベルを定義
- 「ものごとの仕組みを理解した上で、行動に工夫を加える」という目標を表現



● 学部DPルーブリックの作成

- 学部DPを4つのスキル(13の力)に具体化
- 13の力を5段階で記述



スキル	力	1	2	3	4	5
知識構築スキル	1. 基礎知識の習得	基礎知識を習得する	基礎知識を理解する	基礎知識を整理する	基礎知識を体系的に整理する	基礎知識を応用する
	2. 専門知識の習得	専門知識を習得する	専門知識を理解する	専門知識を整理する	専門知識を体系的に整理する	専門知識を応用する
	3. 学際的知識の習得	学際的知識を習得する	学際的知識を理解する	学際的知識を整理する	学際的知識を体系的に整理する	学際的知識を応用する
	4. 最先端知識の習得	最先端知識を習得する	最先端知識を理解する	最先端知識を整理する	最先端知識を体系的に整理する	最先端知識を応用する
自己成長スキル	5. 自己理解	自己理解を深める	自己理解を深める	自己理解を深める	自己理解を深める	自己理解を深める
	6. 自己成長	自己成長を促す	自己成長を促す	自己成長を促す	自己成長を促す	自己成長を促す
	7. 自己表現	自己表現を促す	自己表現を促す	自己表現を促す	自己表現を促す	自己表現を促す
	8. 自己評価	自己評価を促す	自己評価を促す	自己評価を促す	自己評価を促す	自己評価を促す
人間関係スキル	9. 自己と他者の関係	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する
	10. 自己と他者の関係	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する
	11. 自己と他者の関係	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する
	12. 自己と他者の関係	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する	自己と他者の関係を理解する
課題解決スキル	13. 課題解決	課題解決を促す	課題解決を促す	課題解決を促す	課題解決を促す	課題解決を促す

3. eポートフォリオ「My ログ」

eポートフォリオ「My ログ」を開発し、DP達成促進のためにMy ログを活用した学修支援を行った

● My ログの主な機能



- 学部DPスキルチェック 学部ルーブリックの13の力を5段階で自己評価
- プロジェクトシート 力を入れて取り組んだことをストーリーとしてまとめる
- ラーニング・ログ 授業で作成したレポート、プレゼンテーション、作品などを蓄積

● My ログを活用した学修支援

- 支援の場 1年生前期必修科目「環境と人間」
- 目的
 - 学部の教育目標と伸ばすスキルを知る
 - 自己評価と学修のふりかえりを通して意識的にスキルを伸ばす

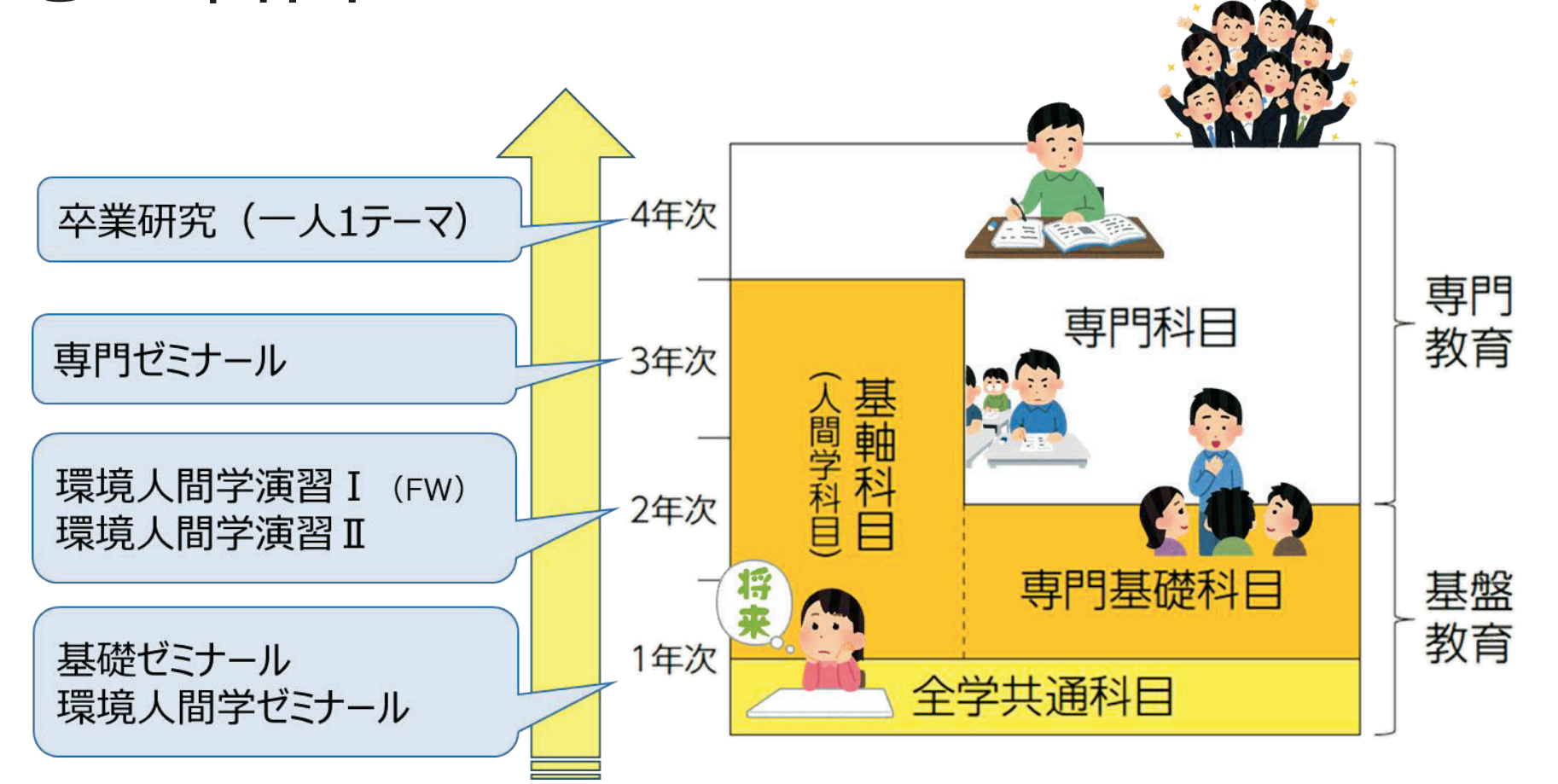


2. 中軸科目における評価指標

学部の中軸となる科目において、DPの達成度を評価するために評価指標を明確化した

● 学部の中軸となる6科目

- 少人数制
- 演習科目
- 全学期を網羅



● 中軸となる科目の評価指標

- 学部DP（スキル）と中軸となる科目との対応を明確化
- 学部DPルーブリックをメタルーブリックとし、中軸となる6科目の成績評価指標を作成

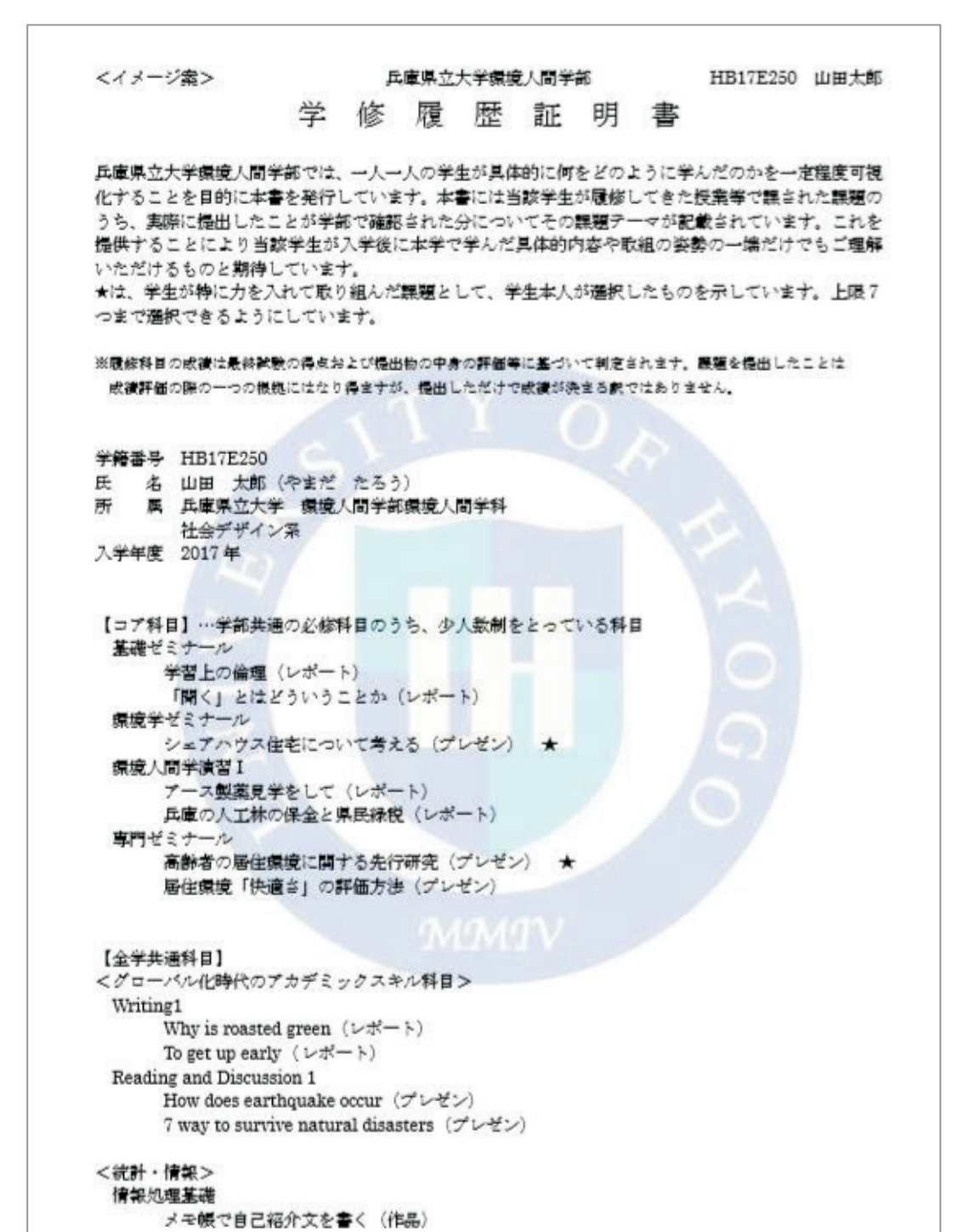
	DP①, DP②, DP③				DP④			DP⑤	
	情報整理力	論理的思考力	知的探求力	構想力	人間関係スキル	課題解決スキル	課題設定力	計画立案力	実行力
基礎ゼミナール	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境人間学ゼミナール	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境人間学演習Ⅰ (FW)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境人間学演習Ⅱ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専門ゼミナール	○	○	○	○	○	○	○	○	○
卒業研究	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4. 学修履歴証明書

個々の学生の具体的学修内容を可視化する学修履歴証明書を開発した

● 学修履歴証明書の開発

- 背景 授業での学生の取組を企業などの社会に対して提示する機会がない
- 証明書の内容 学生が作成したレポート、プレゼンテーション、などのタイトル
- 仕組み My ログのラーニング・ログ機能に登録された課題のうち、教員に承認されたものを一覧化して発行



● 課題と今後の展開

- 「質保証」の要素の欠如 →科目に成績評価を印字する仕様に変更予定
- 活用シーンと運用方法の具体化
- 教職員による労力、手間の軽減